編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-42	高等学校	商業	ビジネス・コミュニケーション	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 704	ビジネス・コミュニケーション		

1. 編修の基本方針

- ・職業及び生活との関連を重視する態度を養う視点から、本文記述とともに実社会に即した具体的事例を「事例」として掲載した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述をさらに深める補注のほか、イラストを豊富に掲載することで具体的な状況をイメージできるようにした。さらに、本文記述に関連した興味深い考察を「コラム」として掲載した。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、章の終わりに章の内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、「事例」を基にした実習課題として「+ S t u d y」を掲載し、主体的・対話的に内容の理解を深める学習ができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	職業及び生活との関連を重視する観点から、街の全景のイラストを掲載し、生活のあらゆる場面でビジネスマナーが必要となることを想起させて、生徒の生活と教科書で学ぶビジネスマナーの内容の関連性をイメージできるようにした。(第2号)	巻頭①②
	他国を尊重する態度を養う観点から、さまざまな国の挨拶について記述した(第5号)。	巻頭④

<p>1 編 1 章</p>	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、公私混同をしないことや時間管理を行うことの重要性について記述した（第3号）。</p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、チームの一員として働く心がまえの項目で、「全員参加の社会」の実現が推進されていることを記述した（第3号）。</p> <p>男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点及び、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、ダイバーシティ経営について記述した。（第3号、第4号）</p>	<p>p. 6～19</p> <p>p. 14</p> <p>p. 16</p> <p>p. 16</p>
<p>2 編 2 章</p>	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、応対に関するビジネスマナーを多数掲載し、イラストを適宜配置することで理解しやすいようにした（第3号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、ビジネスマナーを本文記述で説明するだけでなく、ロールプレイングを活用して実践的な学習ができるようにした（第1号）。</p>	<p>p. 22～47</p> <p>p. 22～47</p> <p>p. 40, 48</p>
<p>2 編 3 章</p>	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、交際に関するビジネスマナーを多数掲載し、イラストを適宜配置することで理解しやすいようにした（第3号）。</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、弔事のマナーの項目において、代表的な宗教にもとづく形式を紹介した（第5号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、ビジネスマナーを本文記述で説明するだけでなく、ロールプレイングを活用して実践的な学習ができるようにした（第1号）。</p>	<p>p. 50～62</p> <p>p. 50～62</p> <p>p. 54</p> <p>p. 57</p>

	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国で定着している各種の食事のマナーについて記述した（第5号）。</p>	p. 58～62
2編4章	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、接客に関するビジネスマナーを多数掲載し、イラストを適宜配置することで理解しやすいようにした（第3号）。</p>	<p>p. 64～69</p> <p>p. 64～69</p>
3編5章	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から、生徒がコミュニケーションの場면을イメージしやすいように、イラストを活用し、ビジネスにおける代表的なコミュニケーションの場面について記述した（第2号）。</p> <p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、項目ごとに実習を掲載し、実習を通じて適切なビジネスコミュニケーションの方法を学べるようにした（第2号）。</p>	<p>p. 72～82</p> <p>p. 74</p> <p>p. 82</p>
3編6章	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、項目ごとに実習を掲載し、実習を通じて適切なビジネスコミュニケーションの方法を学べるようにした（第2号）。</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、苦情対応の項目では、苦情を受けた際の心の持ちようについて記述した（第1号）。</p>	<p>p. 84～97</p> <p>p. 85, 87, 91, 93, 95</p> <p>p. 92, 93</p>
3編7章	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、ビジネスにおけるコミュニケーションの一形態として、会議やビジネス文書について記述した（第1号）。</p>	<p>p. 100～116</p> <p>p. 100～116</p>
4編8章	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第3号）。</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、自国の文化を見直す一つのきっかけとなるよう、他国との文化や商慣習の違いをアンナと明の会話形式で記述した（第5号）。</p>	<p>p. 120～123</p> <p>p. 120～123</p>

4 編 9 章	<p>男女平等の観点から，教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第 3 号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から，各節ごとに PERSON TO PERSON を設け，円滑な英会話をする上で知っておいた方がよい，ベースとなる知識について幅広く記述した（第 1 号）。</p>	<p>p. 124～155</p> <p>p. 134, 140, 148, 149, 154</p>
4 編 10 章	<p>男女平等の観点から，教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第 3 号）。</p> <p>道徳心を培う観点から，電子メールを送る際に，常識的なマナーとして知られているいくつかのルールについて記述した（第 1 号）。</p>	<p>p. 156～177</p> <p>p. 160</p>
4 編 11 章	男女平等の観点から，教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した（第 3 号）。	p. 178～183

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表， 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-42	高等学校	商業	ビジネス・コミュニケーション	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 704	ビジネス・コミュニケーション		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「ビジネス・コミュニケーション」の学習を通じて、ビジネスにおけるコミュニケーションに関する資質や能力を育成するために、以下の点に配慮した。

- (1) 章のはじまりで、その章で学習する内容をまとめ、生徒自身が学習の目的を意識しながら学習できるようにした。
- (2) 生徒が事例と関連付けて本文内容を理解できるように、本文記述に対応した具体的事例を「事例」としてまとめた。また、生徒の意欲を引き出すため、本文記述に関連する興味深い話題を「コラム」としてまとめた。
- (3) 生徒が主体的かつ協働的に学習に取り組むことができるように、「事例」に対応した実習課題として「+Study」を掲載した。テーマに応じて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」という三つの観点のなかから課題を設定し、多様な観点で学習内容を深められるように配慮した。
- (4) 「ビジネスとコミュニケーション」「ビジネスマナー」「ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」「ビジネスと外国語」を項目ごとにまとめ、4編構成にした。
- (5) 「2編 ビジネスマナー」では「応対に関するビジネスマナー」「交際に関するビジネスマナー」「接客に関するビジネスマナー」という三つの内容を整理して学習できるように、それぞれの項目で章を立てた。
- (6) 「2編ビジネスマナー」では、「2章 応対に関するビジネスマナー」「3章 交際に関するビジネスマナー」を学習する際に、実践的なマナーを身に付けられるように、ロールプレイング課題を掲載した。
- (7) 「3編 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」では、「5章 ビジネスコミュニケーションの役割と思考方法」「6章 ビジネスにおけるコミュニケーション」を学習する際に、コミュニケーション能力の育成を図るために、実習課題を掲載した。
- (8) 「4編 ビジネスと外国語」の「8章 企業活動のグローバル化」では、ビジネスを展開する上で踏まえる必要がある外国の文化と商慣習について扱った。

(9) 側注欄に、生徒をイラスト化したキャラクターと吹き出しを掲載し、内容の理解を助ける役割を与えた。

(10) 本文下には適宜参照ページを示し、教科書全体の流れをつかみ、相互の内容について理解が深まるようにした。

(11) 巻末では、本書（申請図書）の重要用語をまとめた「重要用語のまとめと解説」を掲載した。

(12) 基本的な用語については、英語表記に慣れ親しむことができるように、英訳のルビを振った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1編 ビジネスとコミュニケーション 1章 企業の組織と人間関係	(1) ビジネスとコミュニケーション ア 意思決定と組織の構成者としての行動 イ 人的ネットワークの構築	p. 6～20	(15) 15
2編 ビジネスマナー 2章 対応に関するビジネスマナー 3章 交際に関するビジネスマナー 4章 接客に関するビジネスマナー	(2) ビジネスマナー ア 対応に関するビジネスマナー イ 交際に関するビジネスマナー ウ 接客に関するビジネスマナー	p. 22～70	(30) 10 10 10
3編 ビジネスの役割と思考方法 5章 コミュニケーションの役割と思考方法 6章 ビジネスにおけるコミュニケーション 7章 コミュニケーションとビジネススキル	(3) ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション ア 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション イ ビジネスにおける思考の方法 ウ ビジネスにおけるコミュニケーション ウ ビジネスにおけるコミュニケーション	p. 72～118	(30) 10 10 10
4編 ビジネスと外国語 8章 企業活動とグローバル化 9章 ビジネスの会話 10章 ビジネス文書と電子メール 11章 ビジネスにおけるプレゼンテーション	(4) ビジネスと外国語 ア 企業活動のグローバル化 イ 文化と商慣習 ウ ビジネスの会話 エ ビジネス文書と電子メール オ ビジネスにおけるプレゼンテーション	p. 120～ 183	(30) 5 10 10 5
		合計	105